

平成27年度電気事業会計決算概要

(1)概要

○年間販売電力量は、太陽光発電所（天神浄化センター、境港中野）と小水力発電所（若松川）が新規に運転開始したものの、降水量が平年より少なく前年度に比べ水力発電電力量が減少したことから、前年度比9.1%減の約16万5千MWhとなった。しかしながら、事業収益は、FIT適用外の水力発電所の売電単価引き上げなどにより、前年度比2億17百万円増の22億となった。

○一方、事業費用は既存水力発電所の大規模修繕工事の実施や新規発電所の運用開始に伴う減価償却費等により2億31百万円増加したことから、純利益は前年度比14百万円減の3億51百万円となった。

(2)収益的収入・支出(3条)

(税抜、単位:百万円)

区 分	27年度	26年度	差 引	備 考
①収 益	2,200	1,983	217	【売電電力量及び単価等】
営業収益	2,110	1,813	297	区分 売電電力量 (MWh) 目標達成率 (%) 単価 (円/kWh)
電力料	2,110	1,813	297	水力発電 (10箇所) 154,940 (175,841) 93.3 (106.3) 10.35 (FIT適用以外 ※1)
水力発電電力料	1,803	1,669	134	風力発電 (1箇所) 4,280 (4,669) 91.1 (99.4) 19.08
風力発電電力料	81	89	△ 8	太陽光発電 (8箇所) 6,185 (1,408) 114.0 (111.9) 32~40 ※2
太陽光発電電力料	226	55	171	合計 165,405 (181,918) 93.8 (109.3)
営業雑収益	0	0	0	○内は昨年度実績等 ※1 FIT適用発電所の単価は次のとおり 加地:18.96、袋川:20.91、賀祥:29.00、若松川34.00 ※2 FIT単価(H24年度:40 H25年度:36 H26年度:32)
営業外収益	70	92	△ 22	長期前受金戻入、他会計補助金ほか
特別利益	20	78	△ 58	修繕引当金残額の振替ほか
②費 用	1,849	1,618	231	
営業費用	1,720	1,445	275	
水力発電費等	1,514	1,349	165	中津ダム堤体補修ほか大規模修繕工事による増
風力発電費	65	71	△ 6	修繕費の減
太陽光発電費	141	25	116	減価償却費の増(H26年度運用開始分)
営業外費用	111	136	△ 25	退職給与金の減
特別損失	18	37	△ 19	会計制度改正に伴う退職給付引当金への繰入
当年度純損益(①-②)	351	365	△ 14	
その他の未処分利益剰余金変動額	365	245	120	
当年度未処分利益剰余金	716	610	106	

○当年度分未処分利益剰余金716百万円のうち、365百万円を資本金に組み入れ、351百万円を減債積立金に積み立てる。

(3)資本的収入・支出(4条)

(税抜、単位:百万円)

区 分	27年度	26年度	差 引	備 考
①資本的収入	1,231	2,627	△ 1,396	
企業債	1,230	2,625	△ 1,395	新規発電所建設に係る企業債借入金の減
負担金返還金	1	0	1	
固定資産売却代金	0	2	△ 2	
他会計負担金	0	0	0	
②資本的支出	1,984	2,885	△ 901	
建設改良費	1,463	2,516	△ 1,053	新規発電所建設に係る工事費の減
企業債償還金	521	369	152	新規発電所建設に係る企業債償還の増
差引(①-②)	△ 753	△ 258	△ 495	
実質資金収支(キャッシュフロー)	351	230	121	3.4条収支合計に減価償却費等非資金収支を加減した額

○主な建設事業(消費税抜き) 境港中野太陽光発電所建設工事 (425百万円)
若松川発電所建設工事 (361百万円)
春米発電所リニューアル事業設計業務委託 (23百万円)

※上記金額はH27年度の完成払い

(4)借入金の状況(企業債)

前年度未残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末未償還残高
5,646	1,230	521	6,355

(注) 建設改良費の充当財源として借入